

玖珠町立くす星翔中学校 LDXの取り組み

目標

- ①ICT端末を活用した効果的な教育実践
- ②生成AIの校務利用による働き方改革の実践

1. ICT端末を活用した効果的な教育実践（今後の方向性含む）

【要約】

	教員による活用	生徒による活用
登校後	Seisho Portalで本日の日報や日課表、欠席連絡の確認	健康観察フォームを記入
授業中	クラウドの積極的活用 chatの活用	Google Workspaceの活用 AIドリルの活用
休憩中	chatでの状況共有	委員会の情報共有
下校後	Classroomでの連絡のやりとり TeToRuでの保護者への連絡	家庭学習計画とその振り返りの記入

【取り組みの詳細】

①授業におけるICT端末の活用

○学習の目標や内容の提示により、見通しをもたせる

- ・Classroomに単元計画を提示する。
- ・1時間の授業のめあて、ながれを提示する。
- ・授業で活用する資料などをClassroomなどで配布する。

○導入場面での活用

- ・デジタル教科書やフォームを使用し、家庭での予習や前回の復習を活かす。
- ・アンケートなどの活用を通して、課題設定に導く。

○課題追究展開

- ・課題に対して、情報収集する場面を設定する。
- ・他者参照や共同編集を通して、対話的で協働的な深い学びの実現を目指す。

○まとめ・振り返り

- ・フォーム、スプレッドシートを使った授業の振り返りを行う。
- ・課題に対する自己評価を積算させる。

○学習のサイクルを教え、学び続けることができるようにする

- ・各教科の学び方（見方・考え方）を教えていく。
- ・基本ベースは大分スタンダード

課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現・交流→振り返り・評価

②授業外におけるICT端末の活用

○学校内では

- ・委員会活動→スプレッドシートで年間活動計画の共有
- ・デジタルドリル（スマイルネクスト）
- ・各種ソフト（ポケ図書・みんなでBunBun・タイピングソフト）

○家庭では

- ・スプレッドシートを活用した学習計画と一日の振り返り
- ・スライドを活用した学習内容の記録
- ・Classroomを活用した連絡事項のやりとり

③保護者への連絡

○TeToRuの活用

- ・文書や連絡情報の送付 no
- ・諸費の入金

2. 生成AIの校務利用による働き方改革の実践

①各種アンケートの集約

○学校評価アンケートの自由記述の要約

②一定の基準をもつ作業の原案づくり

○学級経営案作成

○クラス分け